

第2期事業報告

(平成13年10月1日～平成14年9月30日)

はじめに

財団法人「こしじ水と緑の会」の設立初年度にあたる第1期は、許可日の6月5日から9月30日までの4ヶ月間と短期であり、その活動は啓発面を主として進められた。そのため、実質的に事業を開始したのは第2期からであり、当財団の将来を占う重要な年度となった。当財団の基本姿勢であるグローバルな視点に立ち、地域に根ざした地道な活動を基本姿勢として、(1) 自然環境の保全活動および研究活動に対する助成と(2) 財団独自の諸活動を事業の2つの柱として諸事業を実施した。

1. 助成事業

(1) 一般助成(公募を行い、選考委員会で決定)

当財団の第1回目の助成事業を「朝日酒造・自然保護助成基金」として実施した。応募期間は、平成13年11月1日から平成14年1月31日まで。専用の申請書により受付けた総数17件の内、選考委員会にて15件の助成先を決定した。なお、選考委員会の審議の過程で助成申請額を一部減額したものもある。平成14年3月30日に財団事務所所在地にて助成金交付式を開催し、助成先に対して、助成決定書を授与すると共に、4月5日に各助成決定先へ助成金を交付した。助成総額は354万1千円であった。

(2) 特別助成(緊急に助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定)

第2期事業計画書に盛り込まれていた「特別助成」は該当案件がなく、実施を見送った。

○助成先一覧(一般)

IDNo.	助成対象団体名	申請者名	住所	活動名	助成額
1	NPO法人 ウッディア賀の会	込田 幸吉	新潟市	里山整備事業	200,000
2	加治川ネット21	若月 学	新潟市	加治川ネット21平成14年度 水辺の大楽校	200,000
3		狩野 裕章	新潟市	湖底土中の土壌シードバンクを利用した植生復元	300,000
4	キャリアテクニカ環境情報専門学校	五十嵐 実	新潟市	新潟の海岸林を利用した環境教育プログラムの開発	200,000
5	NPO溪流再生フォーラム	飯塚 友章	新潟市	柏崎前川の陸封(河川)型ヤマメの増殖保護	200,000
6	山林ボラン広場	尾形 照成	新潟市	山林は生命の糧、心の糧。	200,000
7	信濃川をよみがえらせる会	樋熊 清治	十日町市	信濃川減水区間の調査復元活動	300,000
8	波海ホテルの会	長谷川 貢	越路町	ホテル、水棲昆虫生息の保護活動	230,000
9	通船川・栗ノ木川ルネッサンス	星島 卓美	新潟市	通船川再生草の根活動の記録出版	300,000
10		永井 道雄	長岡市	長岡市栖吉川及び物入沢に生息するホケドジョウとその環境の保全	200,000
11	にいがた貝友会	竹内 睦	長岡市	越後平野におけるカワニナとマシジミを中心とした淡水貝の分布調査	244,000
12	新潟県ネイチャーゲーム協会	平澤 聡	越路町	第12回全国ネイチャーゲーム研究大会in新潟	167,000
13	NPO法人 新潟水辺の会	相楽 治	新潟市	川の再生へ向けた老船頭師と子どもたちとの川舟漕ぎ体験と交流活動	300,000
14	ねっとわーく福島潟	佐藤 悟	豊栄市	福島潟自然学習園を活用した潟の保全と普及活動～特に潟先案内人の養成～	300,000
15	Forest Forum 21	鴨澤 征市	長岡市	岩野里山再生事業…岩野健康ランド活動(愛称)	200,000

2. 普及啓発事業

(1) 「森と海をつなぐもの」と題して、財団設立記念シンポジウムを平成13年12月15日にNCホール（ホテルニューオータニ長岡）にて開催した。

・記念講演1：「わがふるさと越後長岡」

旧越後長岡藩主第17代目 牧野忠昌

・記念講演2：「ぼくの森に海を返せ」

作家

C. W. ニコル

・公開座談会：「こしじ水と緑の会に期待する」

旧越後長岡藩主第17代目

牧野忠昌

作家

C. W. ニコル

(財) 自然資源保全協会企画部長 金子与止男

(財) こしじ水と緑の会専務理事 嶋 悌司

公募による来場者数は、約280名であった。

(2) 「こしじ水と緑の会会報」を第1号～4号まで、計4回（11月、1月、4月、7月）発行した。

(3) 財団のホームページを昨年度から非公式に開設していたが、独自ドメイン名を2月に正式に取得した。（<http://www.koshiji.org>）

(4) 財団設立記念シンポジウム「森と海をつなぐもの」を録音し、文章化した報告書を500部作成し、関係者に配布した。

(5) 当財団の目的・活動内容等を記載したパンフレットの作成及び配布をおこなった。

(6) 第1回助成事業の9つの交付先に対して、交流訪問を実施した。

- ・キャリアテクニカ情報専門学校
- ・通船川、栗ノ木川ルネッサンス
- ・永井道雄
- ・ネットワーク福島潟
- ・渋海ホテルの会
- ・ウッディ阿賀の会
- ・新潟県ネイチャーゲーム協会
- ・加治川ネット21
- ・信濃川をよみがえらせる会

3. 会員募集

期末（9月30日現在）の会員数は以下のとおりである。

(1) 法人会員 66法人

(2) 個人会員 552人

4. 収益事業

第2期事業計画書に盛り込まれていた財団所有の建物を一部賃貸する計画及び朝日酒造株式会社の迎賓館「松籟閣」とその敷地管理の受託計画の準備を進めたが、契約締結時期が第3期へ移ったため、実質的な事業へは至らなかった。

5. 土地取得のための積立て

第2期予算書にて土地取得のための引当金を計上したが、具体的な執行には至らなかった。第3期以降に向けて、更なる積立てを図るため預金口座を開設した。

6. 基本財産の充実

財団の健全運営を目的として、会員拡大と平行して寄付を募った。期末（9月30日現在）の寄付合計は以下のとおりである。

(1) 法人寄付	12 法人	12,991,928 円
(2) 個人寄付	80 人	3,093,944 円
		<hr/>
合計		16,085,872 円
うち基本財産への繰入		7,083,000 円